

感震ロック調節方法(現行仕様)

09.10 お客さま相談センター作成

11.07 改訂

※サンウエーブの名称は『扉キャッチ機構』です。



05. 01以降の仕様

【感震ロック品番】

NKP5269

NKP5269-SET-1

NKP5269-SET-2

レノ SWブランド(2011~)

対応シリーズ

New OVA(～2005.03)

OVA(2005～)

OVA+(2005～2007)

ピアッセ・アイズ(2005)

グランピアッセ(2005～)

イスト(2005～)

i600(2005～)

レノ IXブランド(2010)

レノ SWブランド(2011～)

レノLX SWブランド(2011～)

●感震ロックの調節

- オプション設定品のため、装備されていない場合があります。
- ウォール・アップーユニットが、壁面および床面に対して垂直・水平に設置されているか確認してください。
- ウォール・アップーユニットが傾いていると、感震ロックが作動し、扉が開かなくなる恐れがあります。

以下の要領で調節を行ってください。

(1) 取付位置

扉の調節後、感震ロック本体とフック受けが、右図のように正常な収まりになっているか確認します。基準寸法の位置にない場合は、(2)の手順で調節を行ってください。

※フック受けが基準寸法より上の位置にあると、フック受けが本体に当たり、扉が閉まりにくい場合があります。

また、フック受けが基準寸法より下の位置にあると、ロック機能が十分に発揮されない場合があります。

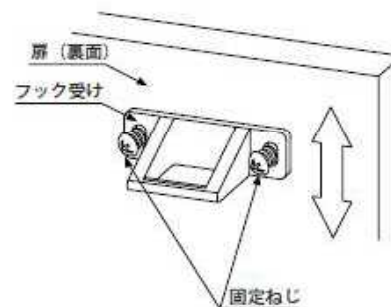


(2) 調節方法

①フック受けを固定している固定ねじをゆるめ、長穴の範囲内(上下±1.5mm)で調節し、固定ねじを締め付けます。

※調節完了後の固定ねじの締め付けは、固定ねじを空転させないように注意ください。

②フック受けを調節してもスムーズに開閉できない場合は扉の調節(P.42参照)を行い、調節してください。



(3) 作動確認

調節後、以下の手順で適切に調節されているか確認します。扉を開くことにより、フックがフック受けに当たってスムーズに上がり、扉を閉めることにより、フックが完全に下りることを確認してください。



(4) ロック解除方法

揺れや傾きを感知すると、フックが下りた状態でロック機能が作動します。揺れがおさまリ、ユニットの傾きが3°以下になると、ロックは自動的に解除されます。